

競技への貢献たたえる

スポーツ賞授賞式

総勢130人を表彰

大館市

大館市スポーツ協会（青柳正隆会長）は20日、同市有浦のプラザ杉の子で第57回市スポーツ賞授賞式を行った。競技の普及発展に力を尽くしたり、全国大会で優秀な成績を収めたりした11人に賞状などを贈った。

同協会は毎年、スポーツの振興に貢献した人が対象の功労賞や全国規模の大会で上位成績を残した選手が対象の栄

令和7年度 大館市スポーツ賞 授賞式



功労賞や栄光賞に選ばれた本年度の受賞者ら
(プラザ杉の子)

光賞、東北大会優勝の優秀賞などを贈っている。本年度は8団体130人を選出した。式典には功労賞と栄光賞に選ばれた11人が出席した。青柳会長は本年度、県大会で優勝した人に贈られる奨励賞が増加したとし、「未来を担う子どもたちの活躍がめざましく、各団体の地道な取り組みが実を結んでいる」とあいさつ。今後、東北大会優勝の優秀賞つ。「今後も全国、東北で活躍するトップアスリートの育成を目指した取り組みに期待している」と語った。

賞状などが手渡された後、受賞者を代表し、競技振興に尽力した大館水泳協会の菅原正年副理事長(64)が、「功労賞を励みに、今後も心と体が許す限り指導員として精進していきたい」と抱負を述べた。